

# 島田久仁彦先生招聘講演・招聘講義

九州大学 グリーンアジア国際リーダー教育センター助教  
渡邊 智明

2016年6月25日、グリーンアジア・プログラムでは、国際交渉の専門家として著名な島田久仁彦氏をお迎えして、公開講演会およびGA学生を対象としてワークショップ(グリーンアジア・レクチャー・シリーズ)を開催しました。

島田久仁彦氏は、1998年に国際連合に勤務して以来、コソボ紛争、イラク復興などで数々の国際紛争に関わる現場で調停官の役割を果たしてきた方です。そして、国際NGOのWWF(世界自然保護基金)より『最も影響力のある交渉官10人』に選出されただけでなく、2012年には、世界経済フォーラムのYoung Global Leaders 2012(YGL2012)に選出されるなど、その活躍は世界的に高く評価されています。また、2015年12月の気候変動枠組条約第21回締約国会合(COP21)において、技術執行委員会(TEC)の議長を務め、2020年以降の気候変動問題に関する国際枠組み、いわゆる「パリ協定」の成立に貢献したことで知られています。

さて、レクチャー・シリーズの前半にあたる講演会は、「グローバルな問題解決に果たす交渉プロフェッショナルの役割—国際交渉の最前線を担う専門家としての生き方」と題する、約1時間の講演を行っていただきました。公開講演の形で行ったこの講演には、GA学生だけでなく、市役所や団体職員、会社員さらには高校生まで、幅広い参加がありました。講演の中では、「交渉プロフェッショナル」として、交渉の本質や交渉の成功を導く重要なキーワードについてお話頂きました。詳細についてここで一々触れることはできませんが、交渉の目的を明確にすることや、立場についての認識など、合意を引き出す交渉人のテクニックについて、国際紛争の調停や企業間交渉などの現場の豊富な事例を引きながら、語っていただきました。

レクチャー・シリーズの後半は、GA学生および同じくリーディング・プログラムである「持続可能な社会を拓く決断科学」プログラムの学

生、計26名の学生を対象としたワークショップを行いました。英語で3時間にわたって行われた本ワークショップでは、学生達は2人ずつの組に分かれて、実際の公共事業を事例とした交渉シミュレーションが行われました。これは、島田先生が例年ハーヴァード大学で行っている演習の一部をほぼ再現したものであり、学生の関心を喚起する刺激的な演習となったようです。本演習は、非常に実践的なもので、日本では行われていないこのようなワークショップを経験し、学生たちも交渉についての知見を大いに深めたものと思います。

島田久仁彦先生の講演および演習は、いずれも時間が経つのも忘れるくらい引き込まれる興味深い内容のものでした。広く国際レベルの現場で働くことを視野に入れているGA学生にとって大きな示唆を与えるものであったと思います。

最後になりましたが、御多用にも関わらず、福岡までお越し頂き感銘深い講義を行って頂いた島田久仁彦先生に、当プログラムとして深甚感謝申し上げます。有難うございました。

